

「お」と「ご」につく和語 漢語について

E-3 毛利 晃大

S-3 沖田 啓之進

敬語接頭辞「お」と「ご」

- 「お」・・・日本で生まれた言葉。
和語につく。漢字の訓読みにつく。
「山」「川」「海」など。
- 「ご」・・・中国から伝わってきて日本語になった言葉。
漢語につく。漢字の音読みにつく。
「山脈」「河川」「海洋」など。



しかし、敬語接頭辞「お」と「ご」の基本のルールに沿わない例外がある。

漢語だが「お」がつく時や、和語だが「ご」がつく時、どちらも付く時がある。

漢語に「お」がつく時

例: お元気、お電話、お食事、お勉強、お化粧品など

その理由としてこれらが推測された。

- 漢語であってもモノ(具体的な名詞)については「お」がつく
- 漢語でも日常的によく使うものには「お」を付けた
- 女性は「ご」よりも「お」を使う傾向があり、それが定着した



しかし、例外が非常に多いので、規則性があまりない。

和語に「ご」がつく時

例: ごゆっくり、ごもっとも、ご親切、ご盛んなど(この4つくらいしかない)

ゆっくりともっともは、和語の副詞である。

この場合の理由について、言及した文献はなかった。

基本のルールとして、和語に「お」漢語に「ご」がつくので、数少ない例外があるのは仕方ないと思う。

「お」と「ご」のどちらもつく時

例:ご・お返事、ご・お都合、ご・お利息、ご・お通知、ご・お会計など

その理由として以下のようになった。

- 男が堅苦しい感じで使うと「ご」になり、女の人が日常語でいうと「お」になって、その二つが普通に使われるようになった
- 「漢語があまり漢語らしくない」言葉があった。和語として扱った場合と、漢語として扱った場合の両方とも使われている

お

ご

お話
お手紙
お味噌汁
お見事
お掃除
お電話
お名前
お酒
お店
お便所
お行儀
お勘定
お饞別

お知らせ
お許し
お年玉
お弁当
お世話
お時間
お荷物
お引っ越し
お天気
お食事
お作法
お賽銭

返事
利息
会計
入学
年賀
祝儀
香典
病氣
勉強

都合
通知
受験
葬儀
年始
祝辞
位牌
誕生

ご用心
ご熱心
ご希望
ご親切
ご到着
ご住所
ご理解
ご丁寧
ご意見
ご説明

ご立派
ご飯
ご主人
ご案内
ご出席
ご家庭
ご招待
ご卒業
ご研究

Etc...

Etc...

Etc...

調べて分かったこと

- 漢語であってもモノ(具体的な名詞)については「お」がつく



新しい規則性として、成り立つ

その理由として、触れることができるので日本語としてなじんでいる漢字と表現することができるからである。

食べ物の「お」と「ご」

- 食べ物には基本的に「お」がつく

(例) お野菜、お肉、お醤油、お酒・・・

- 「お」の語源は室町時代初期頃から宮中や院に仕える女房(女官)が使い始めた女房言葉であると考えられる(例 おかか、おひや、おでん)
- 「ご飯」だけは「お」ではなく「ご」がつく

※ここで使う「ご飯」は穀物を水で炊いたものを指す

ご飯の語源

漢語ハン(飯)で、漢文の影響のうかがえる軍記や室町時代の物語から使われ始め、女房言葉によりこれに「オ(御)」を加えた「オハン(オバン)」の形になり、近世末期にオをゴに替えたゴハンの形が現れる。

なぜ「オ」を「ゴ」に替えたのか？

考察 なぜ「ご飯」だけに「ご」がつくのか

- 例外はあるが「お」は和語に「ご」は漢語につく
- 「ご飯」の「飯(ハン)」は漢語
- 「お」がつく食べ物は 「野菜」「肉」「茶」等がある
- 「飯」と「野菜」「肉」の違いはなにか？

仮説 なぜ「ご飯」だけに「ご」がつくのか

- 「ご飯」の「飯(ハン)」は音読み(漢語)
- 「肉(にく)」は訓読み(和語)
- つまり「飯」は音読み(漢語)であるため漢語には「ご」をつけるルールにより「ご飯」になったのではないか

問題 なぜ「ご飯」だけに「ご」がつくのか

- しかし、さきほどの仮説では説明しきれない語もある
- 「茶」、「野菜」はどちらも音読みである
- しかしどちらも「お」をつける
- では「ご飯」と「お茶」、「お野菜」の違いはなにか？

仮説2 なぜ「ご飯」だけに「ご」がつくのか

- 神や天皇に関するものは「お」、「ご」がつくことが多い
- 実は「ご飯」以外にも「御酒(みき、ごしゅ)」「(普段生活の中では「みき」のほうを用いるため今回は除外した)というものもある
- 「ご飯」も「酒」もお米からできている＝神に捧げるものというイメージ
- 神は当然目上の方なので「ご」をつけた

※親しい仲である場合は「お」、親しくない、目上の場合は「ご」をつける

例)お友達・ご友人

まとめ なぜ「ご飯」だけに「ご」がつくのか

- ご飯(御酒)に「ご」がつく理由
 - 漢語(音読み)である
 - 神に捧げるもの(お米関連)である

参考文献

- 「レファレンス共同データベース「ご飯」の語源について知りたい。」

http://crd.ndl.go.jp/reference/modules/d3ndlcrdentry/index.php?page=ref_view&id=1000164515

- 新・ことば事情4754「ご支度か？お支度か？」

<http://www.ytv.co.jp/blog/announcers/michiura/20>

- 御(お)と御(ご)の統語的特徴—「お電話」「お時給」はなぜ「お」か

https://kitir.lib.kitami-it.ac.jp/dspace/bitstream/10213/1725/1/vol_6_4.pdf

- 「お赤飯の歴史」

<http://www.osekiban.jp/history.html>

- 「敬語の指針 《美化語》」の新設に思う

<http://blog.livedoor.jp/yamakatsuei/archives/50797098.html>

ご清聴ありがとうございました。